

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

關流算法草術卷之二十九

接形

均股有均三寸股にす股をすの
小均行法と云

言云 小均七分八毛

術云均三寸均實則別小

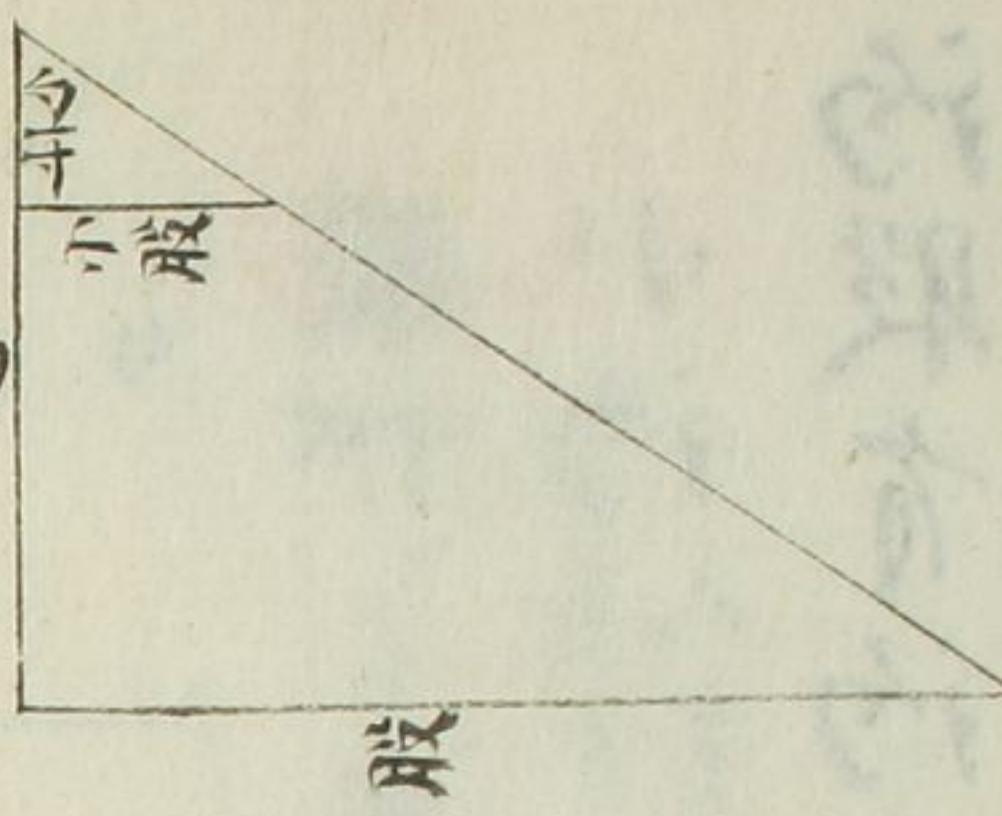
股すと正法ノ以く害と除く股をすの
小均七分七毛五分八毫九毛四分八毫

均股有均三寸股於武寸均毛す小卦ての

小股の法と曰

言ふ 小股式寸にう

術云股^{スル式}と定めとて 別小

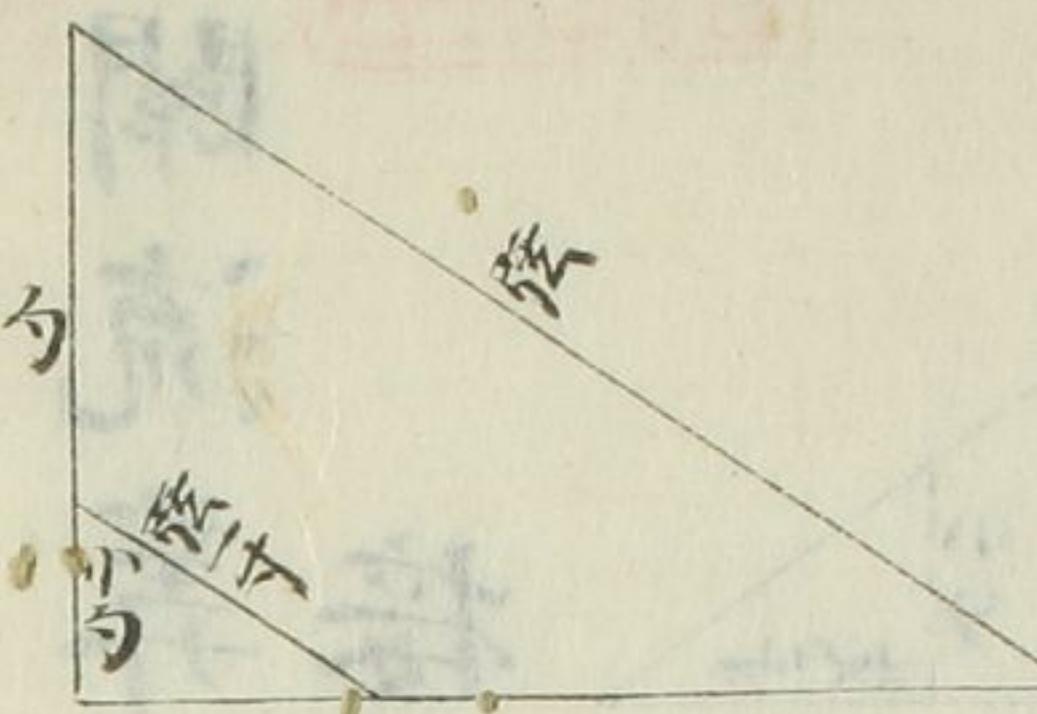


河を寸の小股式寸ともいふ

河股有河三寸弦入寸弦を寸小

舟ての小河の法と曰

言ふ 小河六う

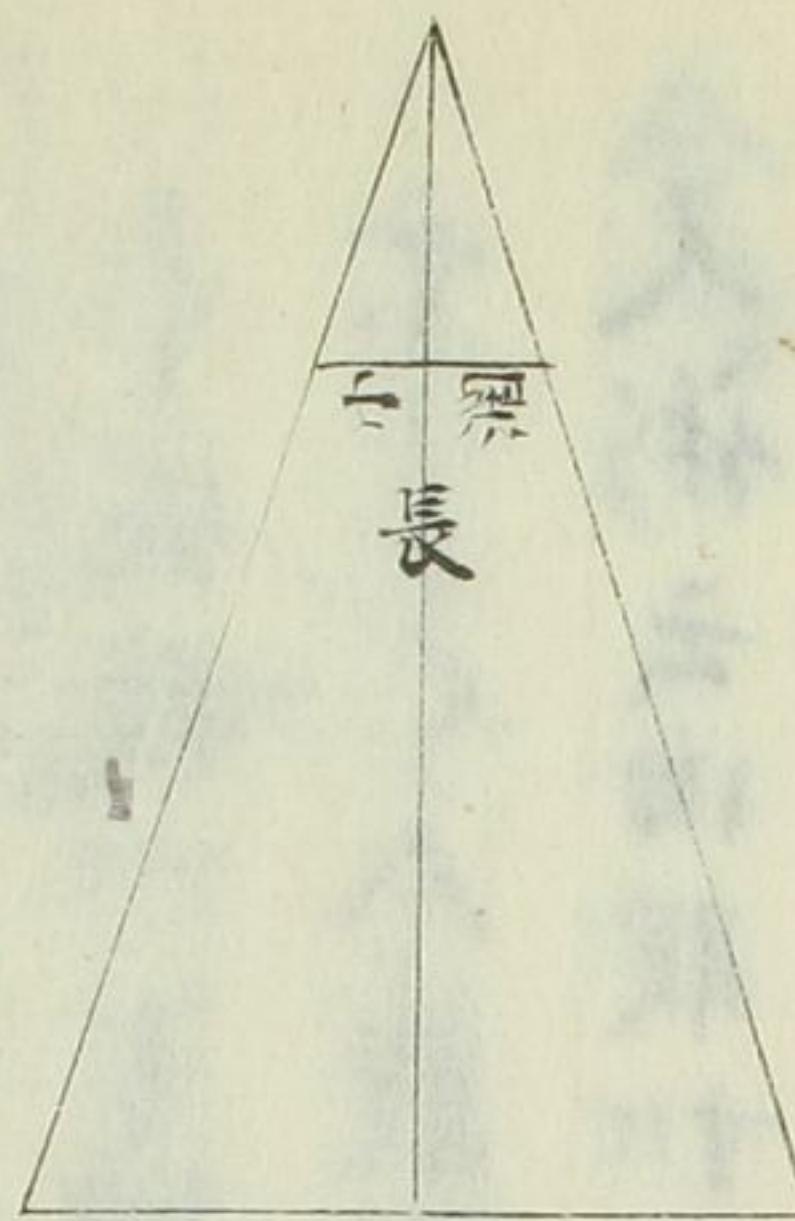


術云河すと定めとて 別小

法と曰

弦すと定めとて河すと定めとて弦を寸小

舟ての小河がともいふ



主有河式寸にす長寸六す
長を寸す小舟ての小河の

法と曰

言ふ 小河を寸へう

術云河式寸と定めとて河すと定めとて河
舟ての小河を寸と定めとて

四河ニ寸股にすの河股有け相應わして今

汚松武寸の汚股と化す其股行
従と可

言云 今股拾六寸

術云 今汚_{拾武}と至四汚_{小除}
く従教_テとゆき因法_{シテ}以_テ四股_小
系_{シテ}今股_{拾六}とゆき合向

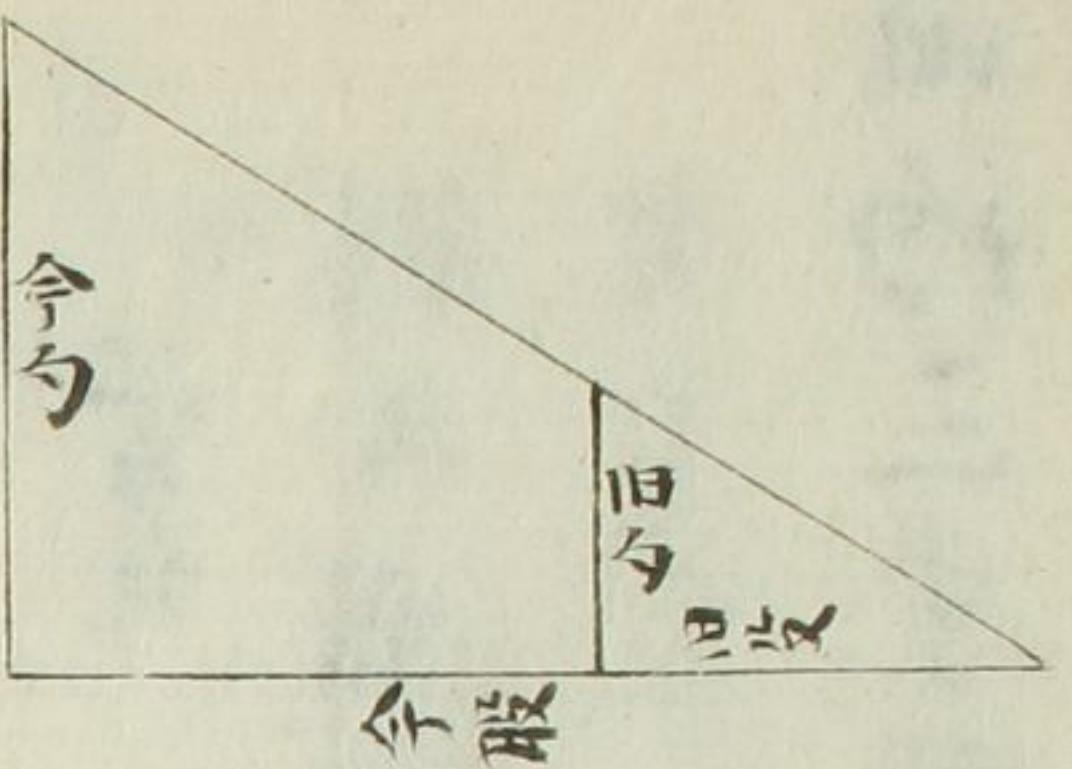
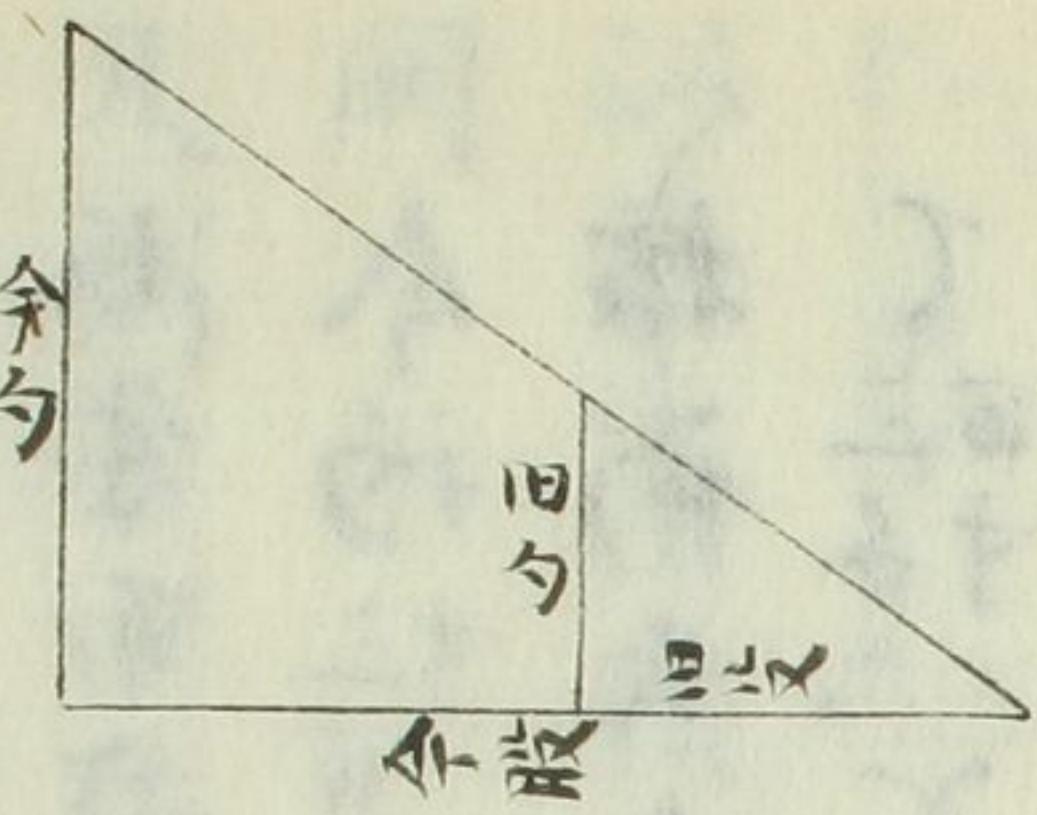
入術云旧股_大と至四汚_{小除}く汚_大の
股_{三寸二分}とゆき今汚_{拾武}と系_{シテ}今
股拾六と得_シ合向

枯術云今汚_{拾武}と至四股_大と系_{シテ}ハ拾
てゆき旧汚_三小除_シ今股_{拾六}と得_シ
合向

旧汚入寸股拾武寸の汚股有_ハ
無_シか_シて今股七百武拾寸の
汚股を化_シ其汚行従と可

言云 今汚三万寸

術云 今股_{七百武}と至四股_{拾武}小除_シ
六拾_シとゆき因法_{シテ}以_テ四汚_{小除}と



今沟三百とひる合回

入術云旧沟拵と走四股 拾武小除く股をす
小付ての沟六六六三今股七百武減ふして

今沟三百とひる合回

拉術云今股七百武と走く旧沟拵とあ
て二五六とひる四股 拾武小除く今沟三百

とひる合回

旧沟三寸弦入寸の沟股有是小相度し
今沟未拾走すの沟股減化致今之法

行従と回

言云 今弦三拾入寸

術云今沟武拾と走四沟三寸
除く便移七とひる同法とひ

のく 旧弦拵小系して今弦三拾とひる合
回

又術云旧弦拵と走く旧沟三寸小除く沟走
寸小付ての弦六六六三とひる今沟武拾とあ
て今弦三拾とひる合回

括術云今沟武松と主四弦木すと主一ノ
守百。と骨田沟三小除今弦二松木骨骨

合四



守弦有大頭松武寸小尺九寸長
に寸馬のとく長を傍く股二志
て沟股小幅其股行程と同

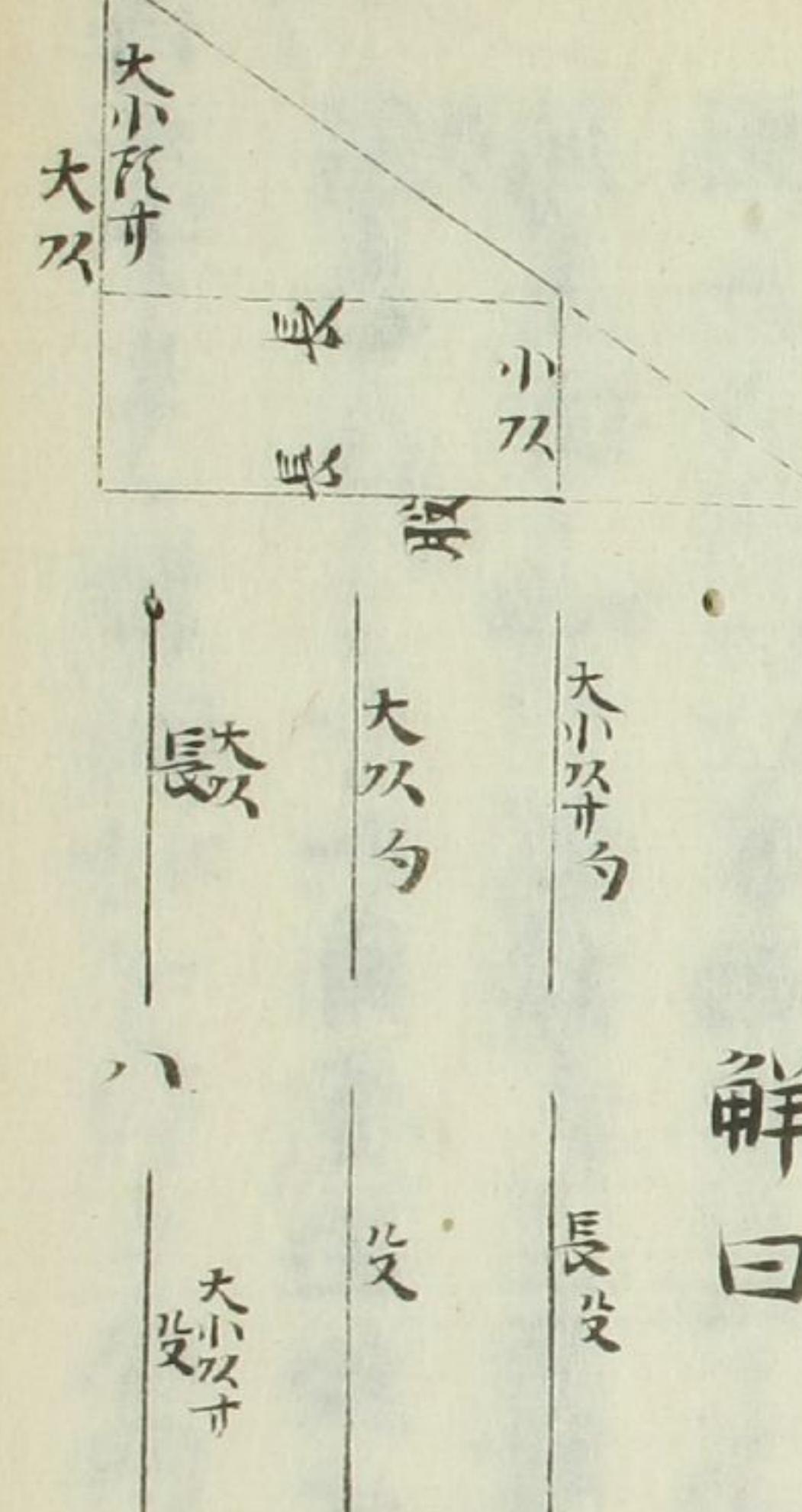
言云股松六寸

術云大尺松武と主内小尺寸減して候す
仮沟三長寸と主一仮股二仮沟三小

隆沟三寸の股二主一とゆ大尺松武と
主一て股松六寸ゆ合四
又術云大尺松武の内小尺寸と減して候す法
とく別小大尺松武小長寸と主一て八寸とゆ
法とく除之股二とゆ合四

解曰

維來ニテ得ル

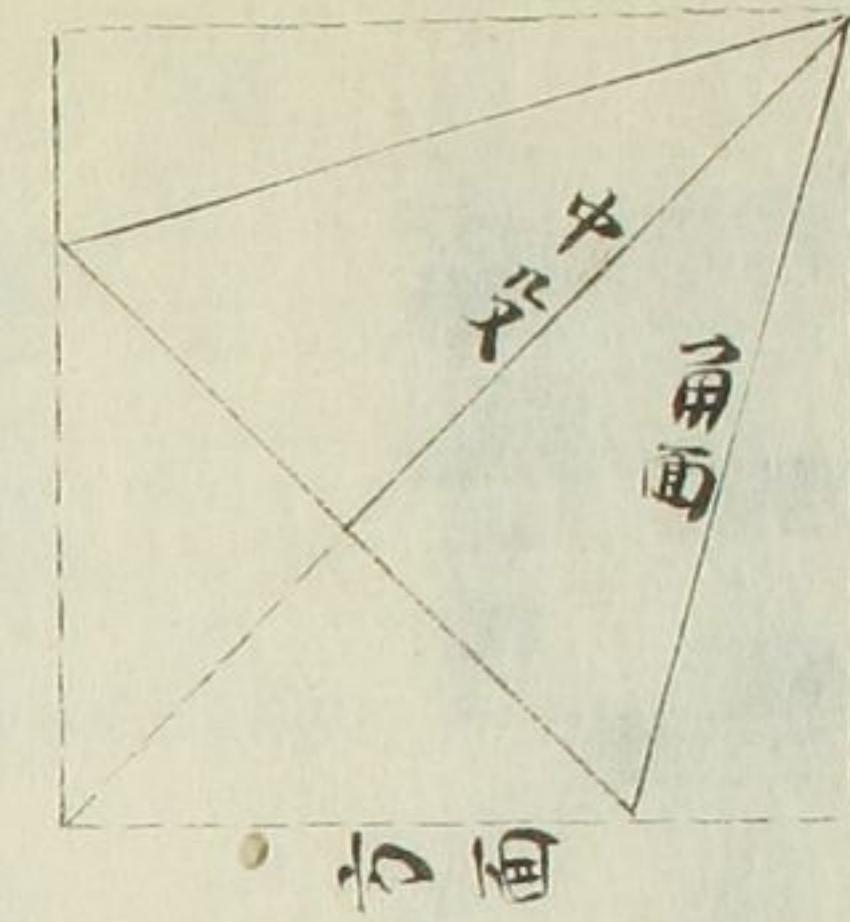


騷

大尺

也依之本術股ヲ

得ルたり

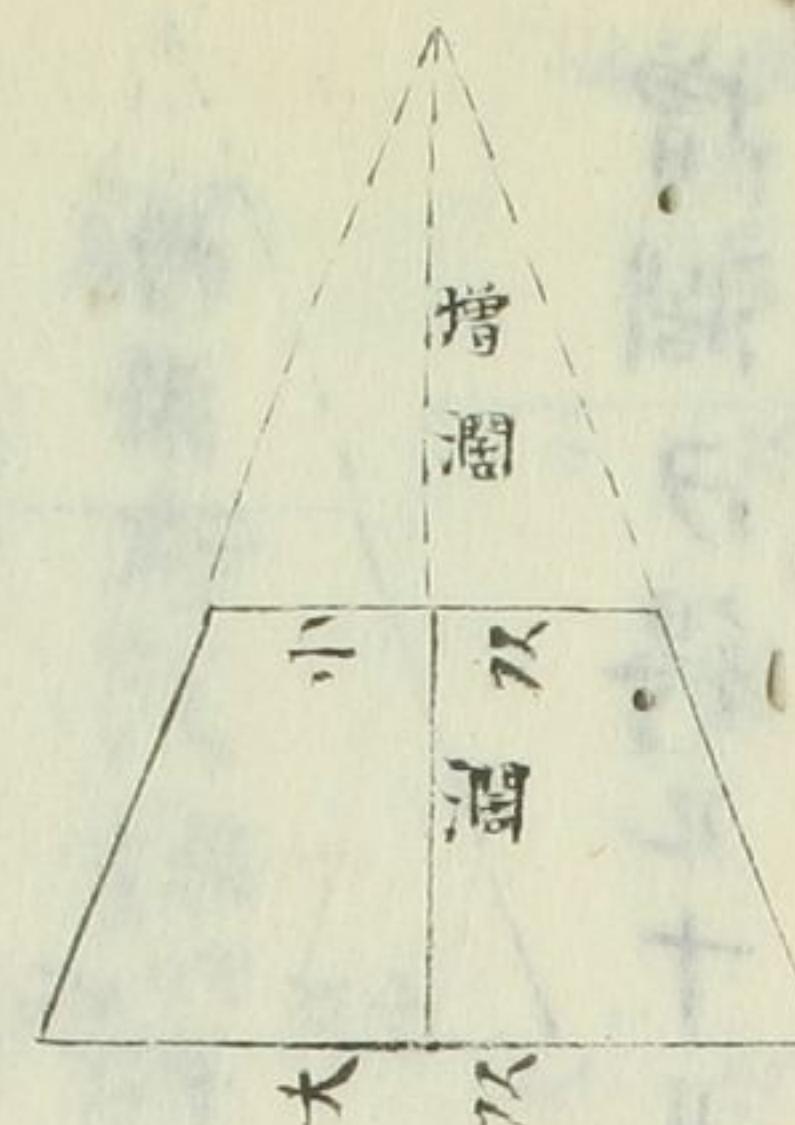


二角有面於寸身のとく中股
と傍く方斜として方小股
方西行継との

蓋云 方西九寸六うを九毛宗

術云角西拾と中股法拾と系して中股
九寸六と中股角面拾とかく方斜拾三寸六
どねく方斜法一尺ニ小降く方西九寸六うを九毛宗
をねく合向

右解スルニ及バズ



梯形有大既武拾にす小既六
寸洞拾武寸身のとく間と

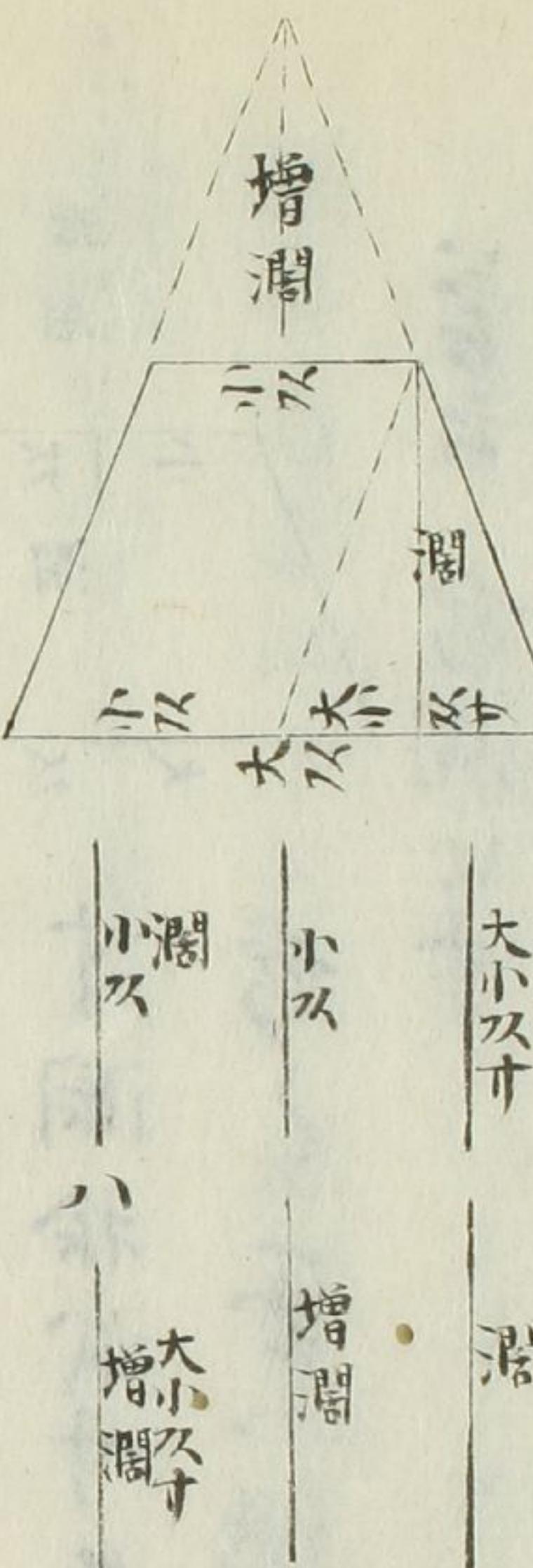
傍くまか既傍闊行継との

蓋云 傍闊にす

術云大既武拾の内小既六と減して既拾ハと
既走西とて 洞拾武と既走洞とて既走面小
降く西をすの洞拾六うをとて 小頃六と
まして傍闊すとねく合向

又術云閑於武小小尺六とましてせ松を松ふ
実とくに別小大尺六と松の内小尺六と減して候
松八尺八寸と算と算と算と算と算と算と算

解曰

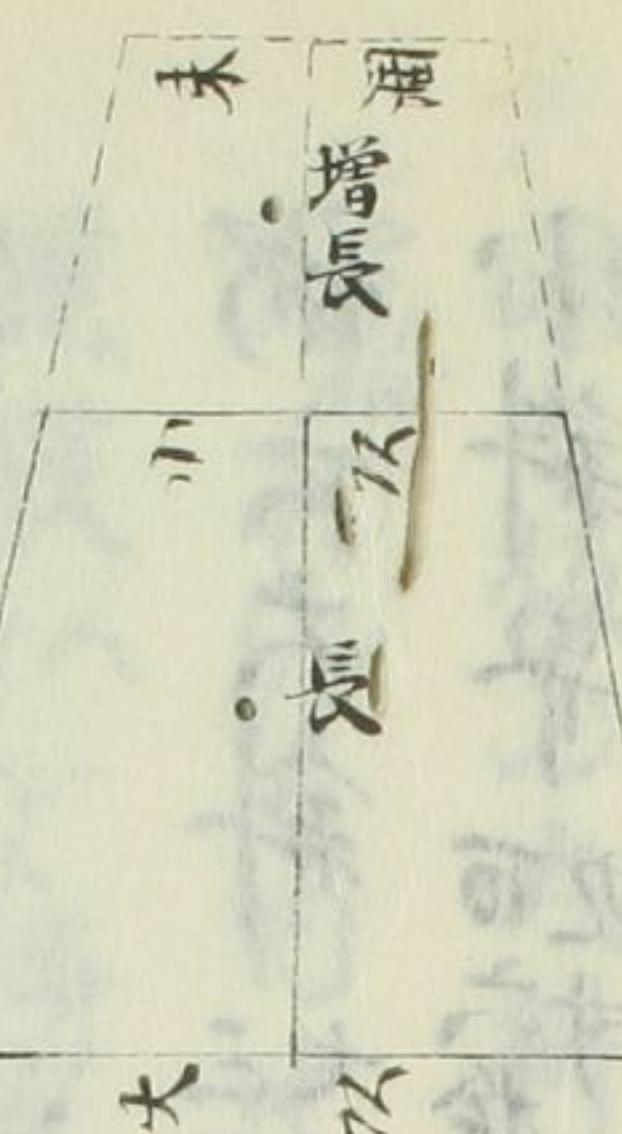


維來シテ得ル

之依之本術

増潤ヲ得ルナリ

榜有大頭松にす小尺松す長松武寸号の

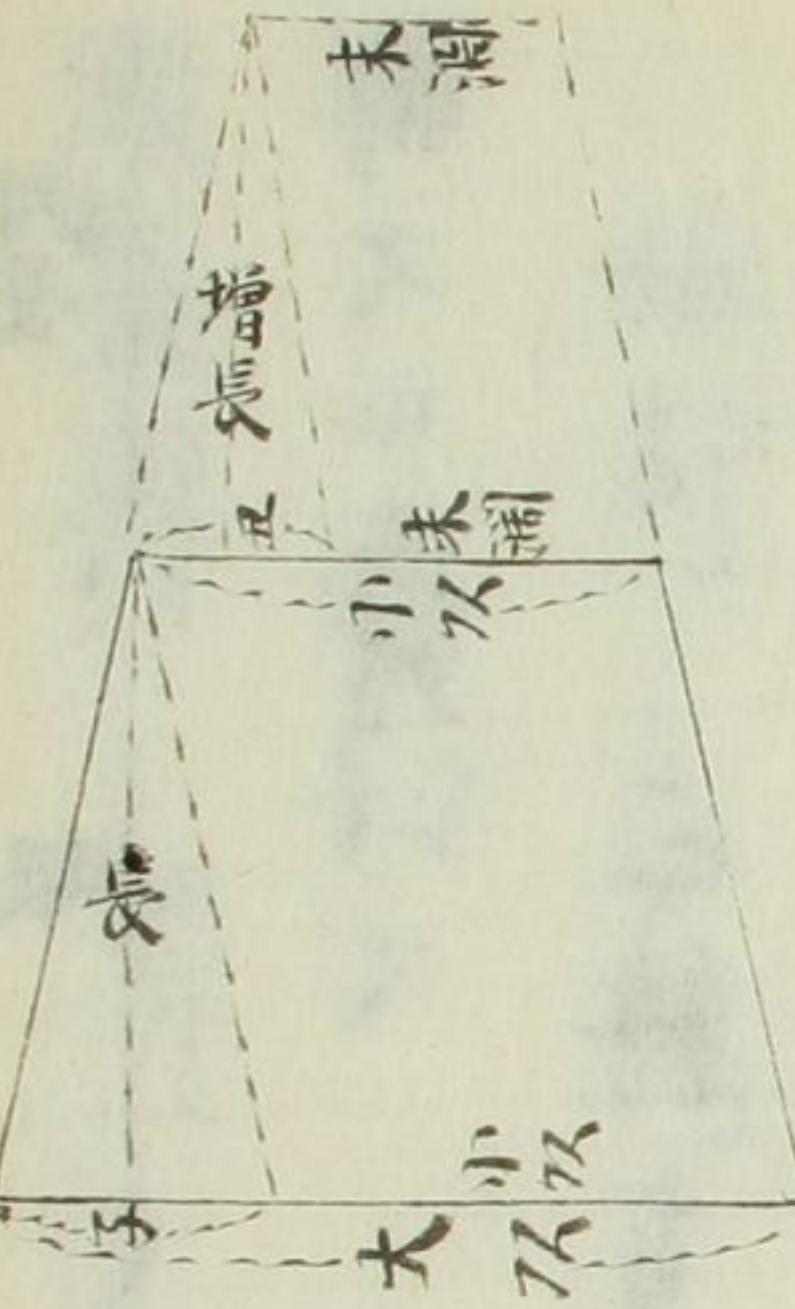


小尺ノ長六寸と算く又榜小
化未閑行松と可

云々未閑ハス

術云大尺松の内小尺松と減して候すよと考
長すとまして候すとちも長松武小降くせ松と
ちも小尺松と減して候すと未閑とて候

解曰



維來シテ得

增長

五

五

未閑

増長

五

未閑

小尺

大尺

長

大尺

小尺

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

未

増長

張

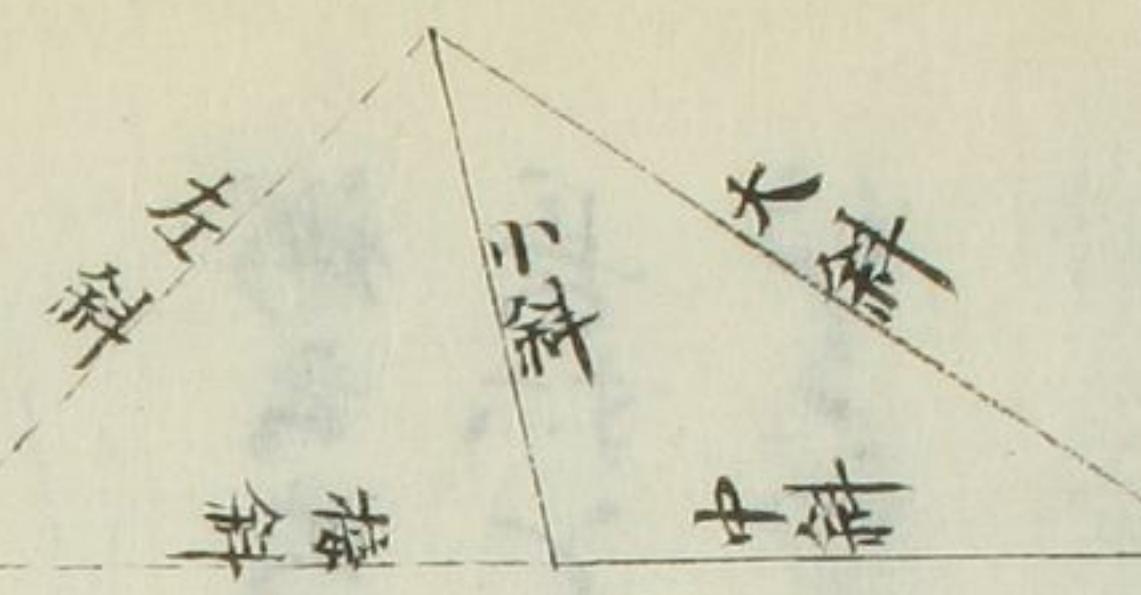
ニ依之本術ヲ求ル十リ外

解スルニ及バズ

三斜有大斜三拾七寸中斜二拾寸
小斜拾ニ寸多のとく中斜とて
又三斜小化其左斜武拾寸接
斜行法と

並云接斜武拾也す

術云大斜二拾と自立して拾九寸とせよ且
小斜卑百六拾と減しては可也とひく中斜の



因ハ彼の大斜と中斜二拾小斜百六
大斜二拾、内中斜二拾と減して毎とまして彼
短股へと骨、自家之武拾と減く小斜卑百六
すと減して毎で拾と中汚卑とてひく左斜
界百六と減して毎武拾と、右界とて百平方降之
五拾六と減く彼短股へとがくまきて武拾とひく
接斜とて禽

解曰

假長股ハ

假短股

中斜

自乘ニテ

假長股卑ハ

假短支巾

中斜

中斜巾

也

大斜卑ハ

中斜巾

假長股卑

假短支巾

中斜

大斜卑ハ 中斜巾 假長股卑ヲ變メ得ル

大斜卑ハ

中斜巾

假短支巾

中斜

假大斜

中斜

小斜卑ハ

中斜巾

假短支巾

中斜

右大斜卑ノ内小斜卑ヲ減シテ餘ハ

依之本術大斜卑ノ内減小斜卑餘ヲ

中斜ノ因ル假大斜トス中斜ニ除テ假

大斜トス内中斜ヲ減メ餘ヲ半ニテ假短股

トスルナリ

假短支巾

中斜巾

小斜支巾

中斜巾

左斜支巾

中斜巾

左斜支巾

依之本術假短股ヲ自來

シテ以テ小斜卑ヲ減メ餘ヲ中匁卑トス

トスルナリ

子タ

中斜巾

左斜支巾

中斜巾

左斜支巾

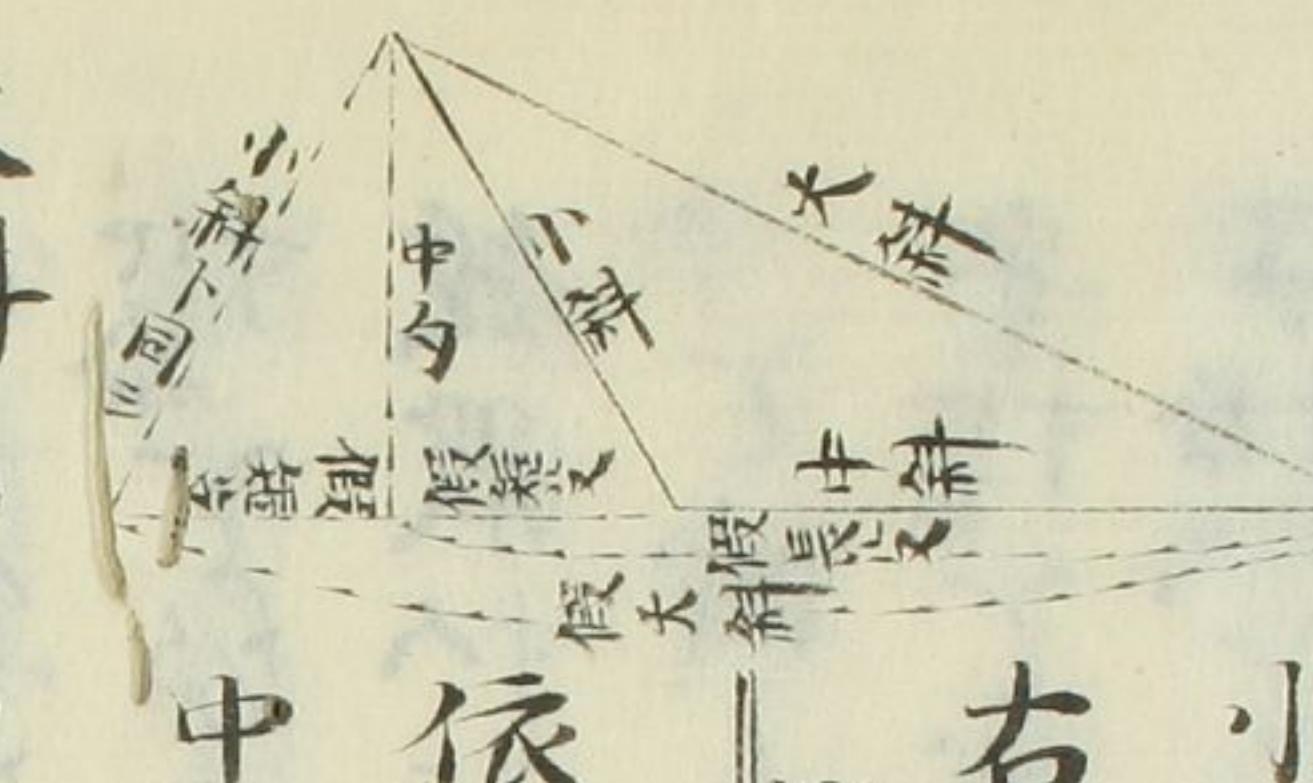
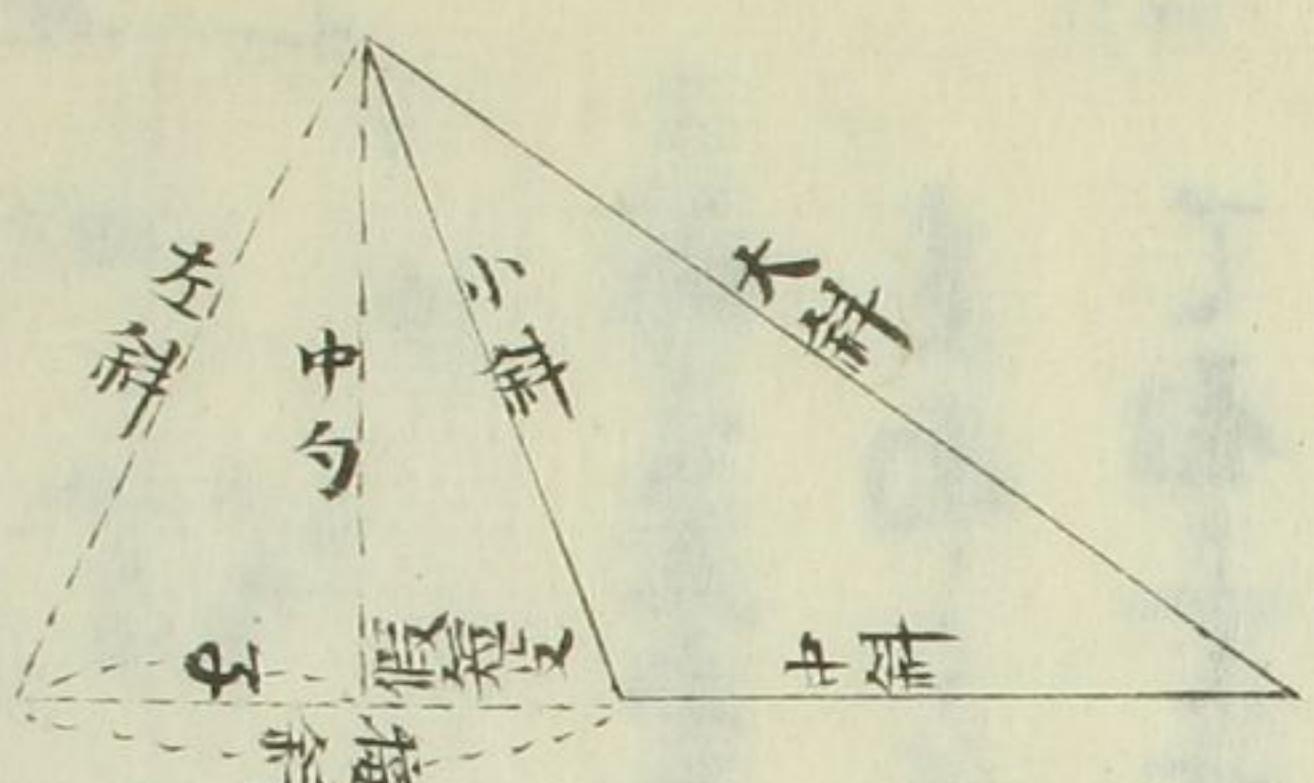
依之本術中

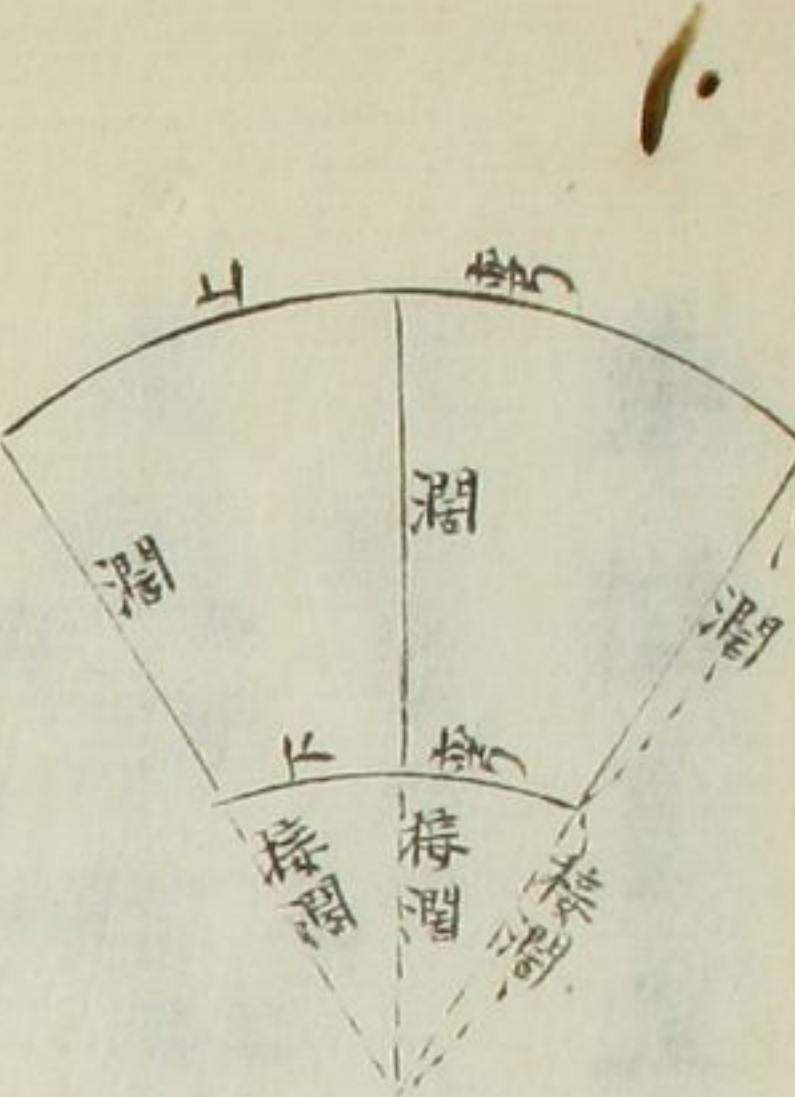
匁卑ヲ以テ左斜卑ヲ減メ餘ヲ子

卑トス開平方ニ除之子ヲ得ル假短

股ヲ加ヘテ接斜トスルナリ

車輶有上轡武松にす下弯六寸闊各松武寸





家のまへく闕と接傍く扇形
小門接闕に役と向

解云 楢闕にす

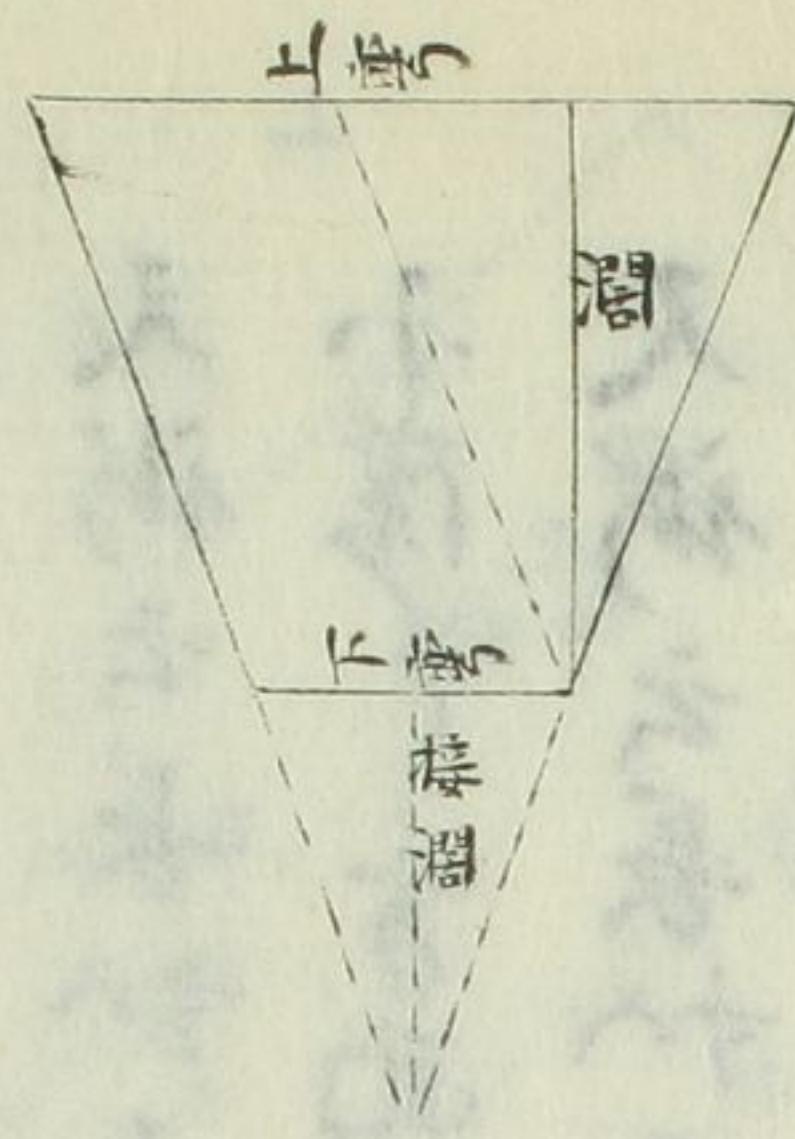
術云上弯（或松）四寸の内下弯（或松）六寸減して候す。板
ま面とくに闕寸（或松）と候主闕とくに候主面小陰
て面を寸の闕減すと候下弯寸（或松）と候す。

接闕すと候合向

又術云闕寸（松武）小ト上弯寸（或松）七寸（或松）と候
主とくに別小上弯（或松）四寸の内下弯寸（或松）と候して

接闕すと候合向

解曰

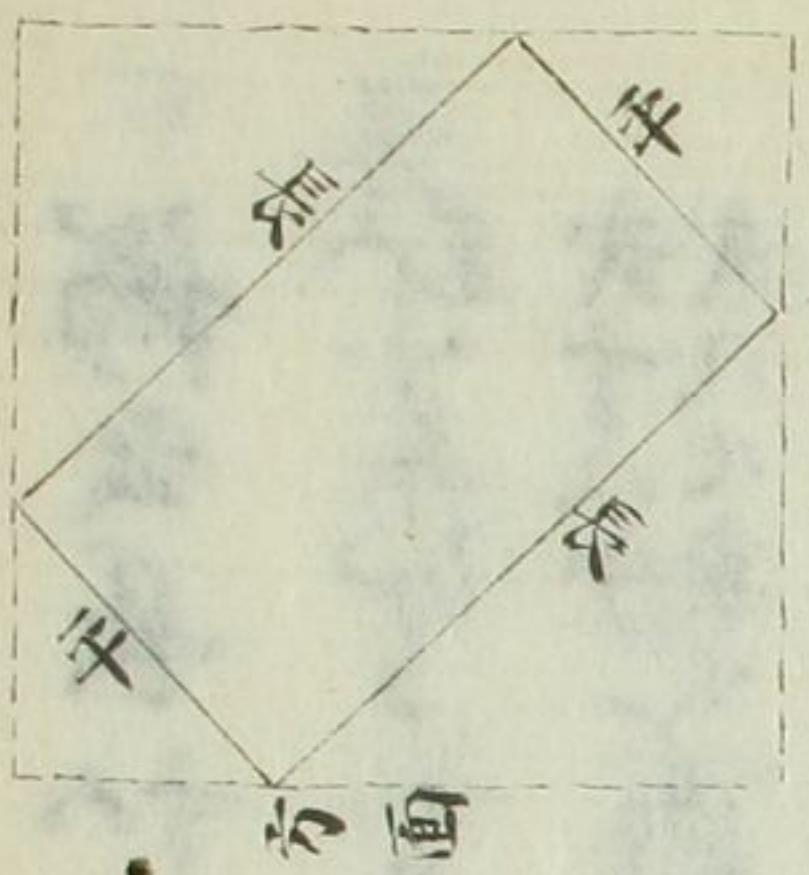


圖ノ如ク彎ニ拘ハラス楳形ニ
視テ術ヲ施スナリ第十ノ術
ト同ニ見合スヘシ

主有長八寸半に寸多のとくに弯小半方と
接て方小化、方面に役と向

主有方西六寸二分六厘二毫

九系余



術云長才と左方斜法一除小除くふ三寸八
入と右方斜法一除小除くふ三寸八
又平才と左方斜法一除小除く丑
武才と右方斜法一除小除く未
武才と左方斜法一除小除く未
武才と右方斜法一除小除く未

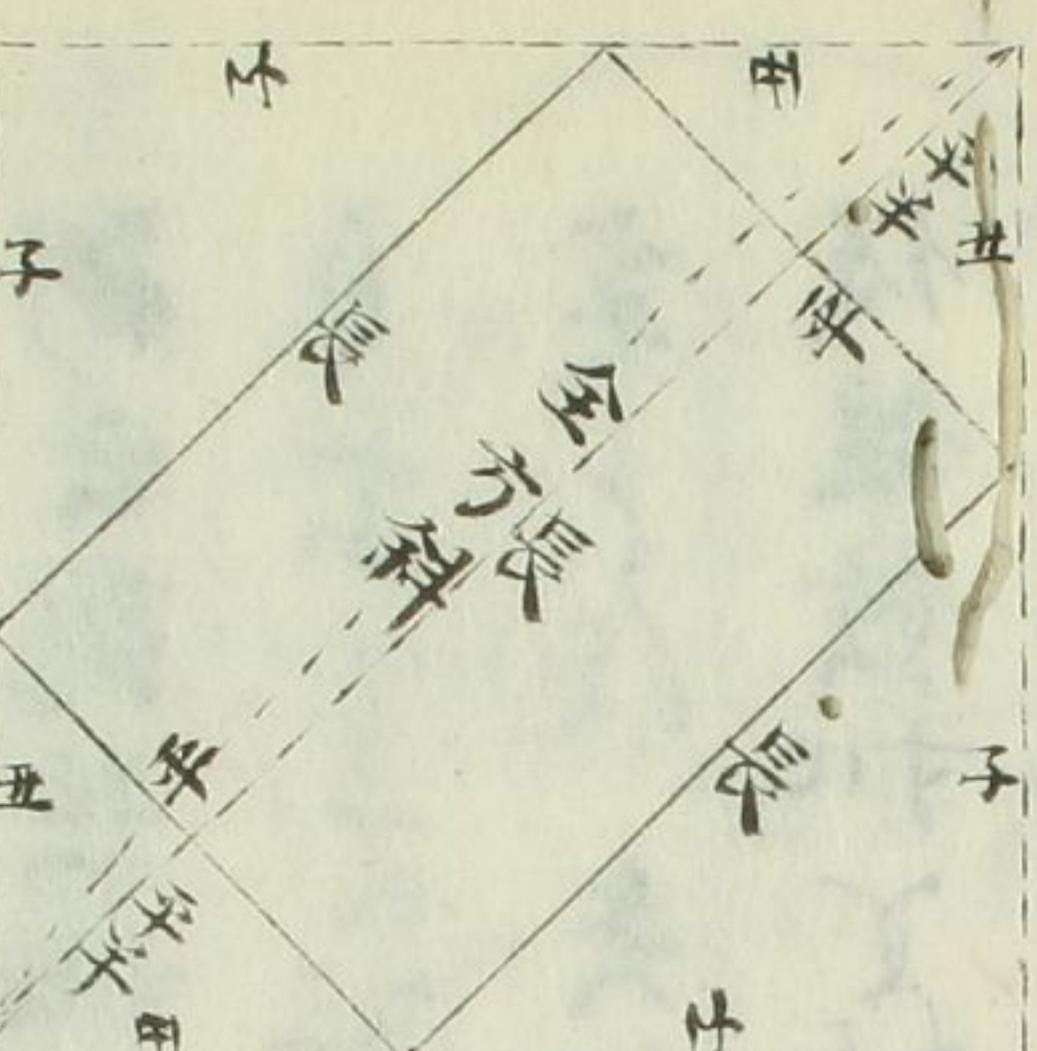
西と左食肉

又術云長才平才と右方斜法一除
小除く方面六寸三分と右方斜法一除

小除く方面六寸九分と右方斜法一除

又術云長才平才と右方斜法一除
八寸三分と右方斜法一除と右方斜法一除
六寸三分と右方斜法一除と右方斜法一除
六寸九分と右方斜法一除と右方斜法一除

解曰



子ヲ方面トシ長ヲ其方面
トス故ニ長ヲ右方斜法二除テ
子ヲ得ル 又丑ヲ方面トシ
平ヲ其方面トス故ニ平ヲ

右斜法二除テ丑ヲ得ル

又術解

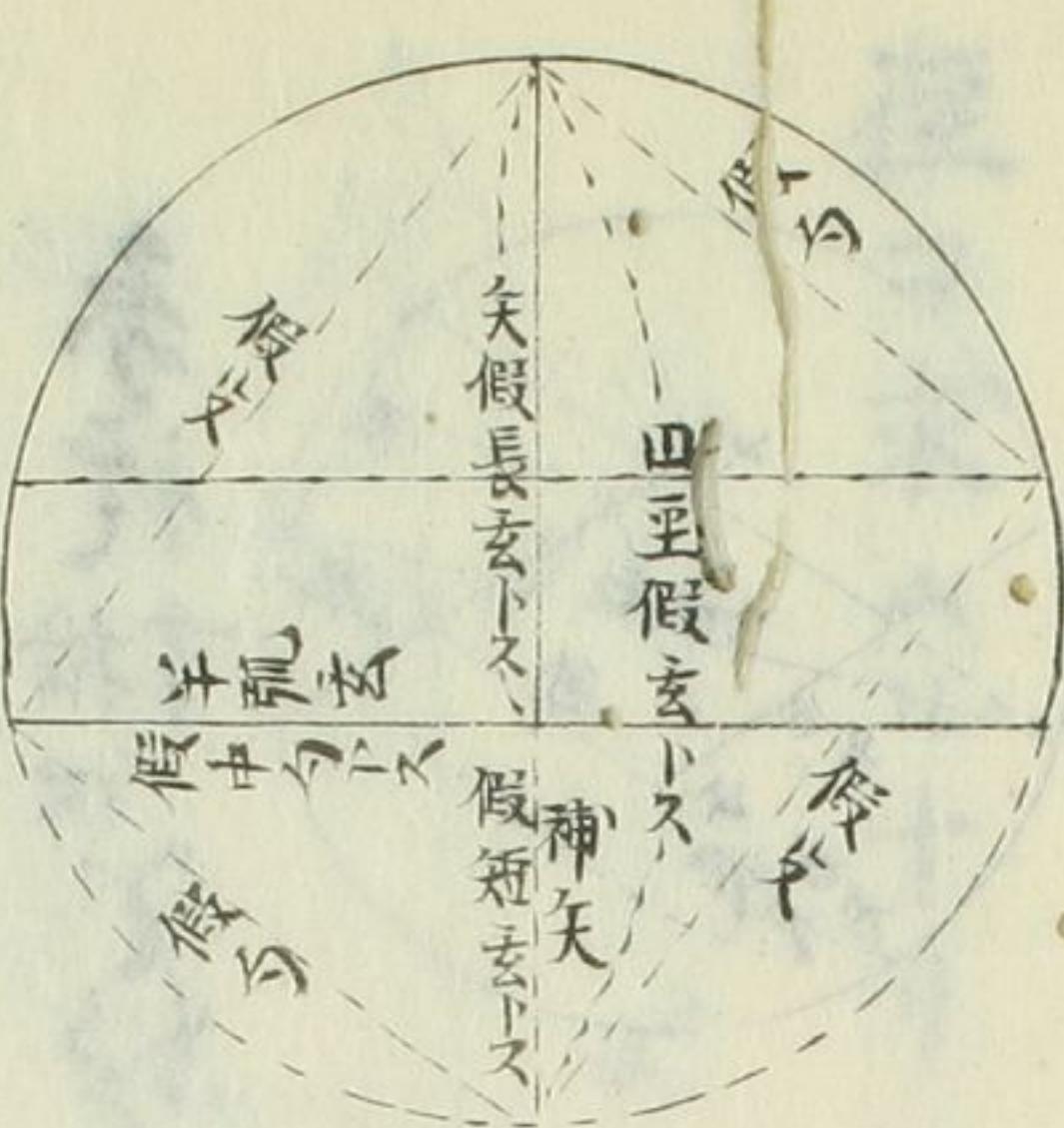
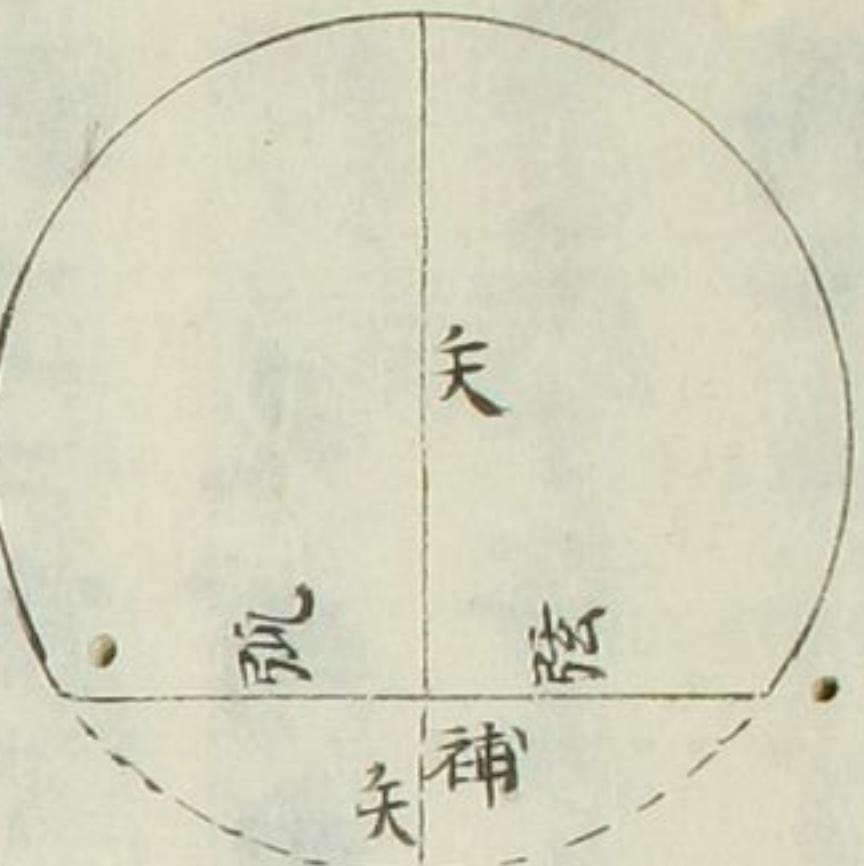
長ト平ト併テ全方面トス右斜法二除テ方面
ヲ得ル

疏有矢九寸弦拾弐寸弓のと
く闊と浦々全弓小紀と浦
矢行法と向

言云 補矢に寸

術云疏弦拾弐寸弓のとすして六寸とすと
自宗とて三拾とすと役長弦の圓と役短弦とと
寔とて矢執と役長弦とて以て寔と除て
役短弦すとちり而神矢とて合焉

解曰



ナリ弓股ノ篇ト照ニ見ルヘシ

義有面矢六寸弓のとく西外
小長矢八寸短矢五寸と接て
主紀と象形行法と向

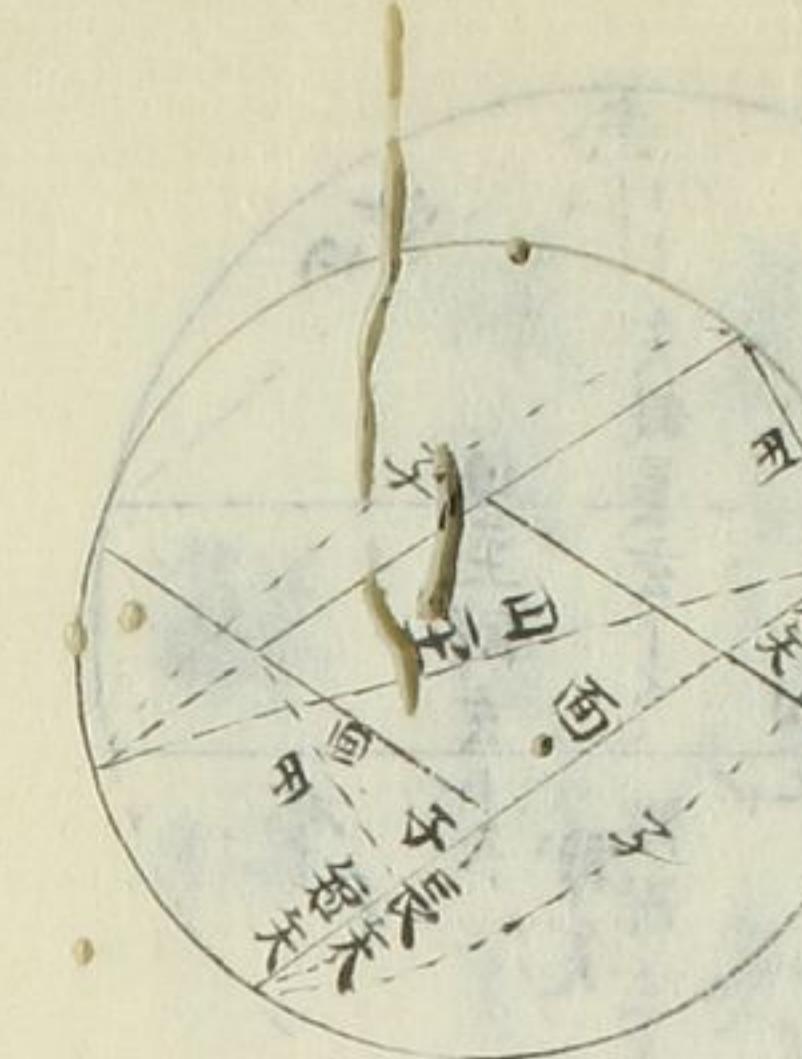
言云 矢行法に寸

術云長矢の内短矢と減して候ニとふと
自家志^九すとひく西卑^六すと減して候
武拾^七と丑卑^八と別か長矢の内短矢^{武拾}を候て
拾^三とひく高^七と自家志^九すとひく丑卑^八と加
えを共^小六^九拾^七とひく家^五短矢^九を候て
家^五候すにひく高^八

解曰

此圖ニ據テ子丑卑及寅ヲ得ル

是ニ依テ
四主玄
子癸



徑ヲ求ムナリ

方差有^一上方六寸下方武
拾^二寸高拾^三すと別か上方六^一と
共^二を接^三方准^一候

接高^一候^二と

差^一接^二にす

術云上方六寸高拾^一ととして^二計^三と
に別か下方^四武拾^五の内上方六^一と減して候^二す
と法^三にて^四候^五除て接^一すとひく高^二

解曰

尖ヨリ下方

ノ正中ニ至

テ切ル所ノ

平面

高

樹高

梅高

上カ

下カ

梅高

上下カ

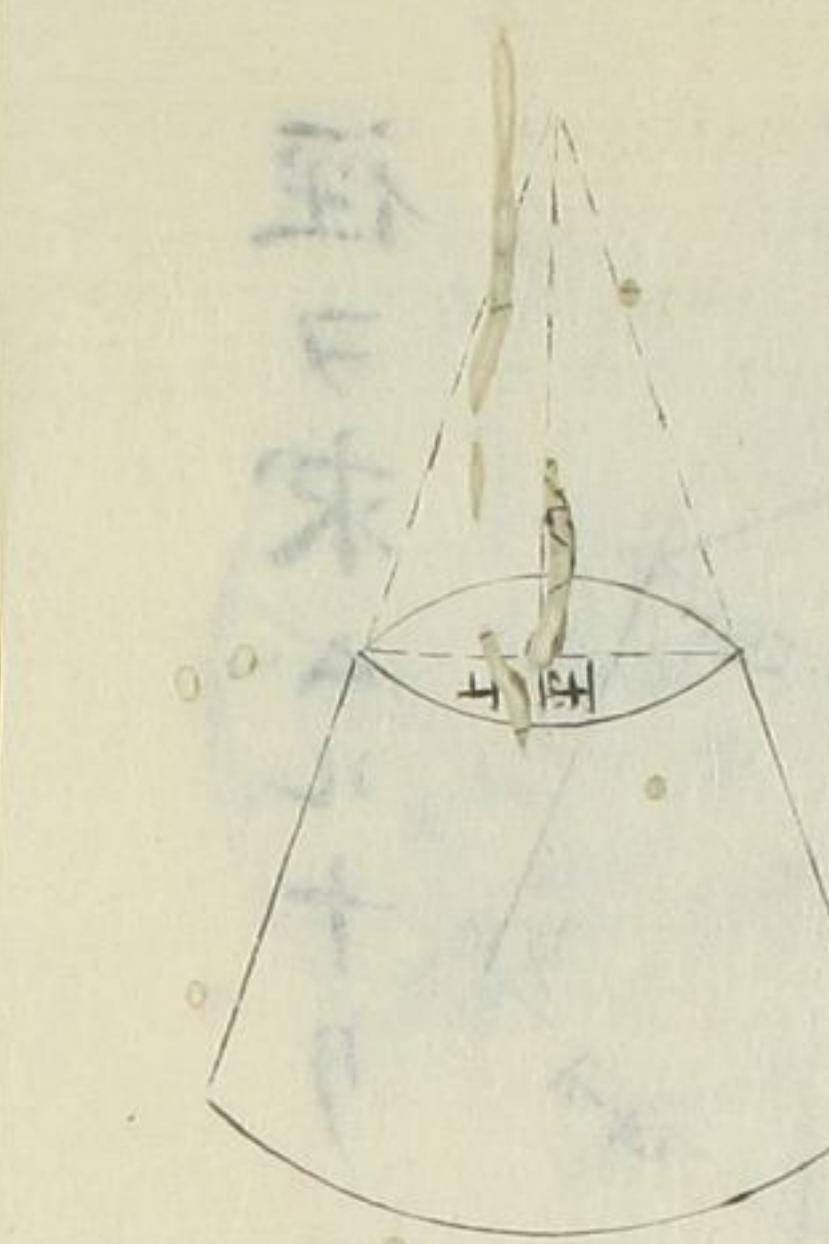
雜來シテ得ル

也依之本術接高ヲ得ルナリ

象臺有上徑ニ拾武寸下徑

ハ拾寸七拾八寸号のとく

もと接傍く象臺小徑も



象臺のあらわし法とて

言云、象臺高四丈拾八寸

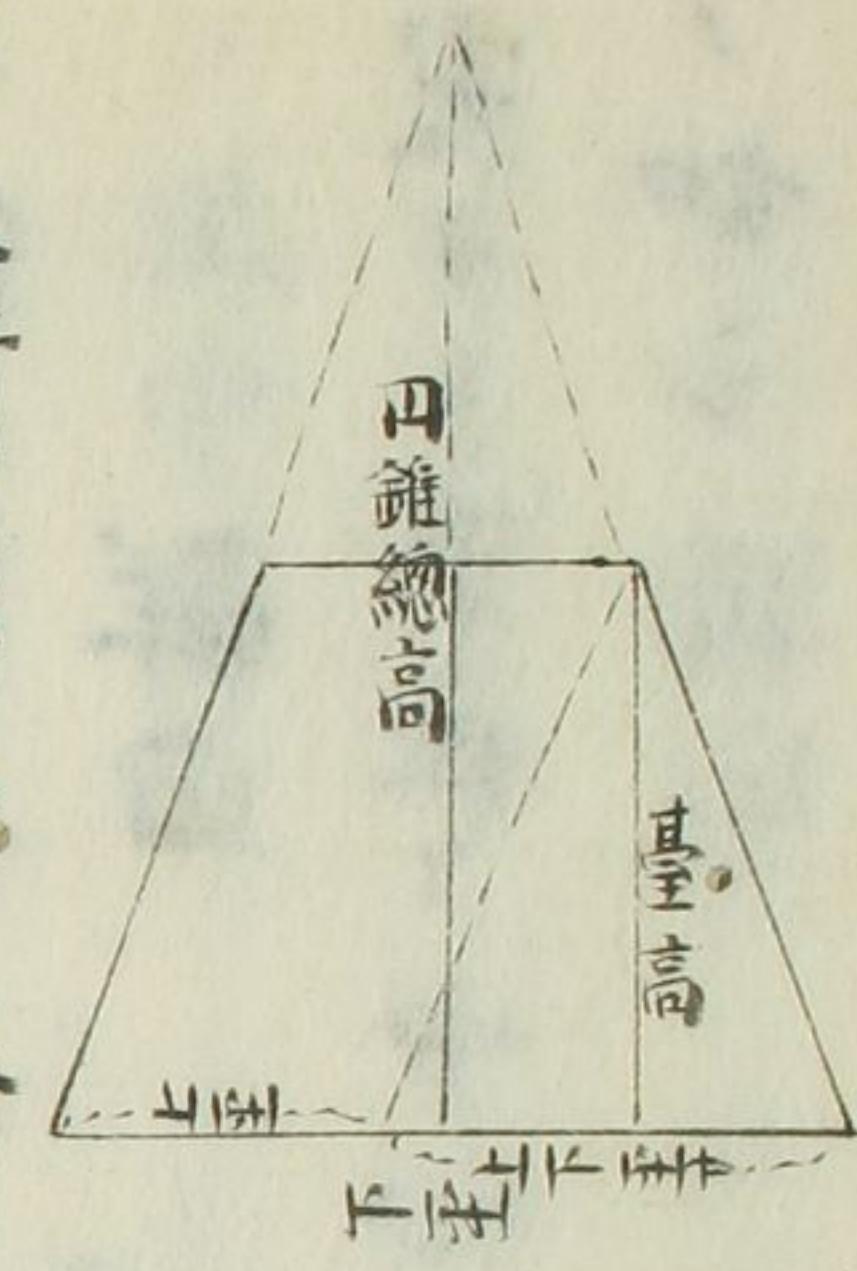
術云下徑八拾二丈基高七拾八寸と算して拾二
丈八寸と算七拾八寸別下徑八拾の内上徑三拾と減
餘八寸と算とて算と算と除く象臺のあら
わし法とて算とて除く象臺のあら

四丈拾八寸と算合内

解曰

尖ヨリ下往ノ中心ニ至テ切ル所ノ平面ノ圖左

ノ如シ

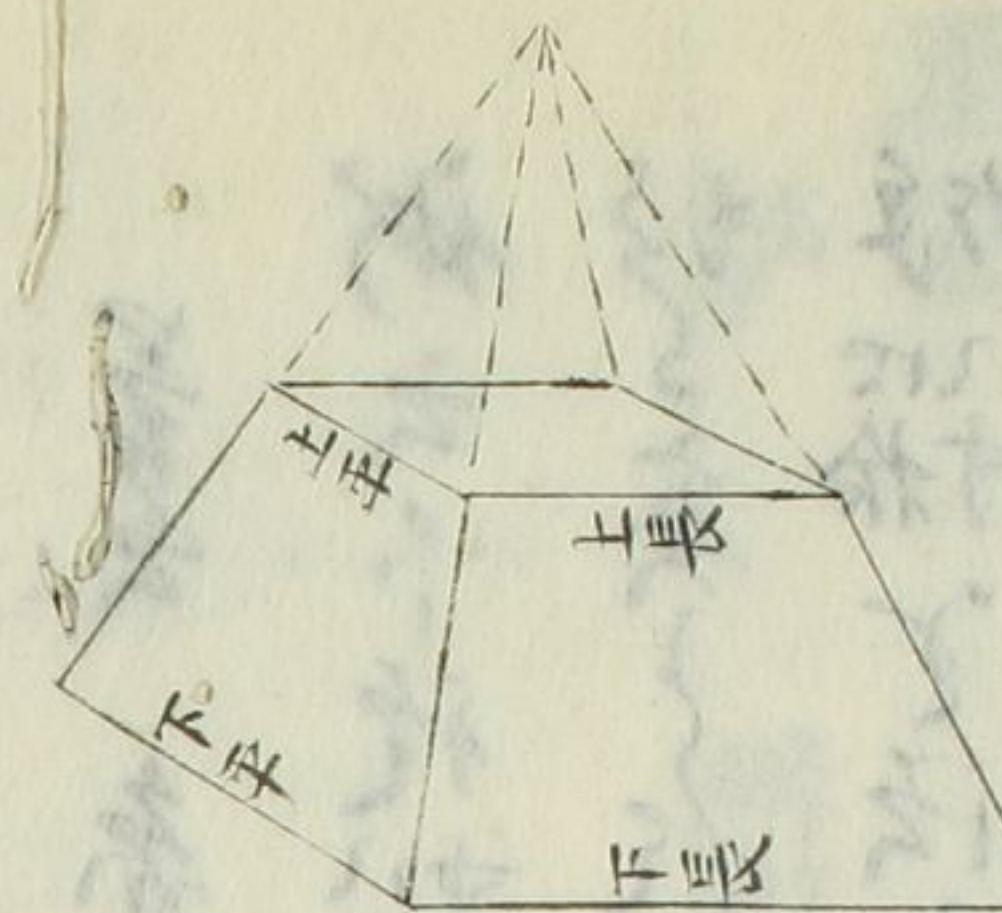


上下至寸
臺高

上至寸
總高

維來メ得ル
臺高

之是ニ依
下至寸



主臺有上平武拾寸下平六拾
寸上長武拾八寸下長八拾寸
主八拾八寸者之主而得
主度小絕維高行往之向
主度小絕維高行往之向

三言之
准主百武拾八寸

テ本術總高ヲ得ルナリ

之是ニ依
總高
維來メ得ル
臺高

術云下平六拾之主主八拾
之主而得三拾武寸と
滑り窓とくに別小下平一
六拾の内上平一武拾と減
して底に於て法とくに主と降く准主百武
すとやく食内

解曰

尖ヨリ下長ノ

正中ニ至テ切

ル所ノ平面

高

八

鍾高

依之本術錐高ヲ得ルナリ

維來シテ得ル

高

八

鍾高

高

八

鍾高

高

八

鍾高

又術云下長八寸とする八寸と算して換す。而て
ゆる實より別小下長八寸の内上長六寸と減
して底八寸と法より以て除く。准言。
八寸換とゆる亦合用。

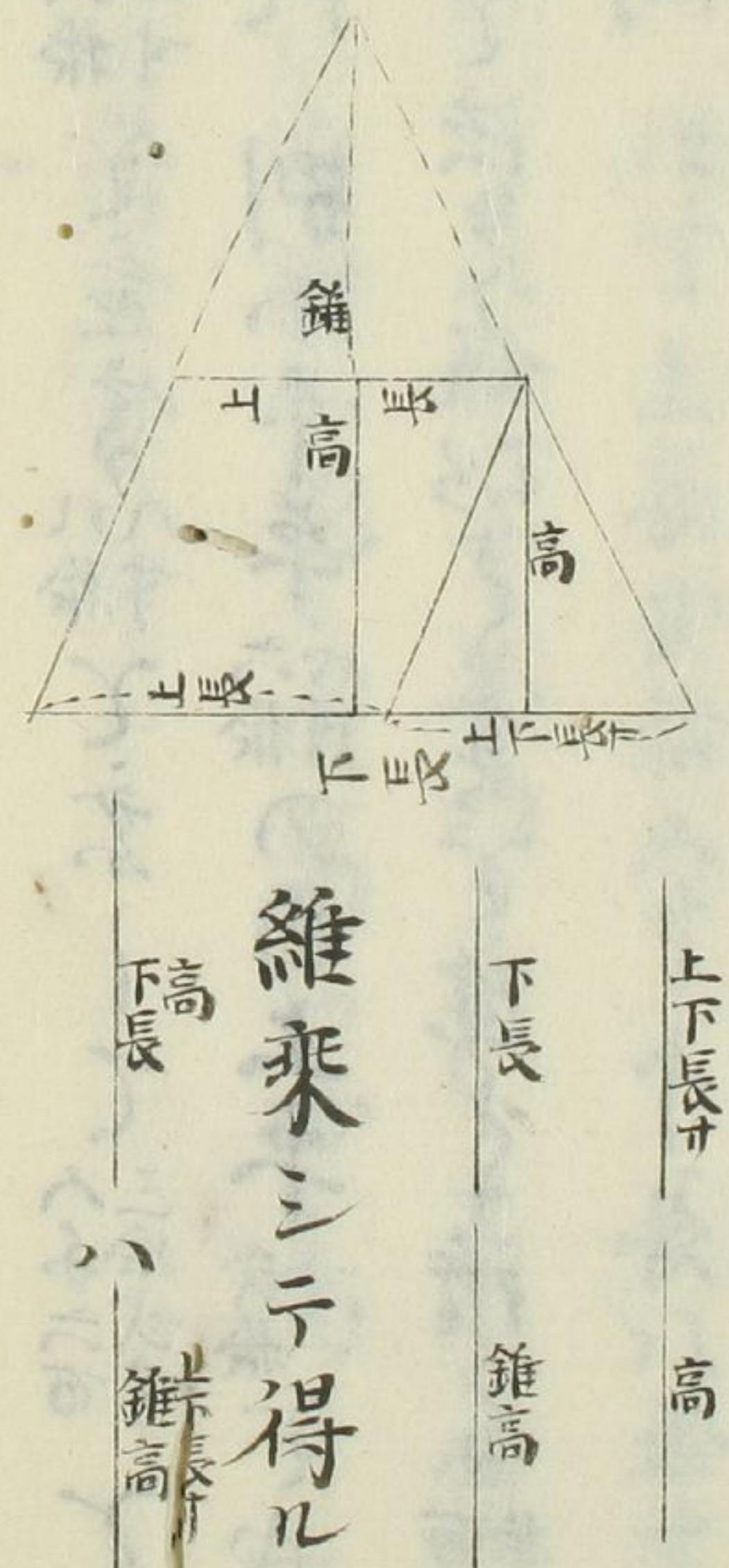
解曰

尖ヨリ下平

正中ニ至

テ切几所ノ

平面如下圖



維來シテ得ル

右ノ式ニ依テ本術錐高ヲ得ルナリ

此形直錐トナルモノハ右ノ如ク平ヲ以テ求ル。
高ト長ヲ以テ求ル高ト全同數ナリ若同數
ナラサルモノハ必椎形トナル故ニ必先長ト平
トヲ以テ高ヲ試ミ同シカラサルモノニ遇ハ
楔ノ術ヲ施スヘシ詳ニ下條ニ見ヘタリ

古屋有上平をす上長七寸ト
平ニ寸下長松をす上長七寸ト
のとくもて接傍く接小把も

接る及又行程と向

言々 極るにす 又入す

術云上平寸とあるれどもしてすとし
とくに別小下平寸の内上平寸と減して候す
と法とくに以く宴と除く接る寸とせら
下長寸の内上長寸と減して候す小接ち寸と
ましてすとし又宴とくにすとく除く
上長寸又との表すとくに以く上長寸と減
して候すと及くに各向

解曰

又ヨリ下長ノ

接高

上平寸

高

下平寸

接高

上平寸

高

ル所ノ平面

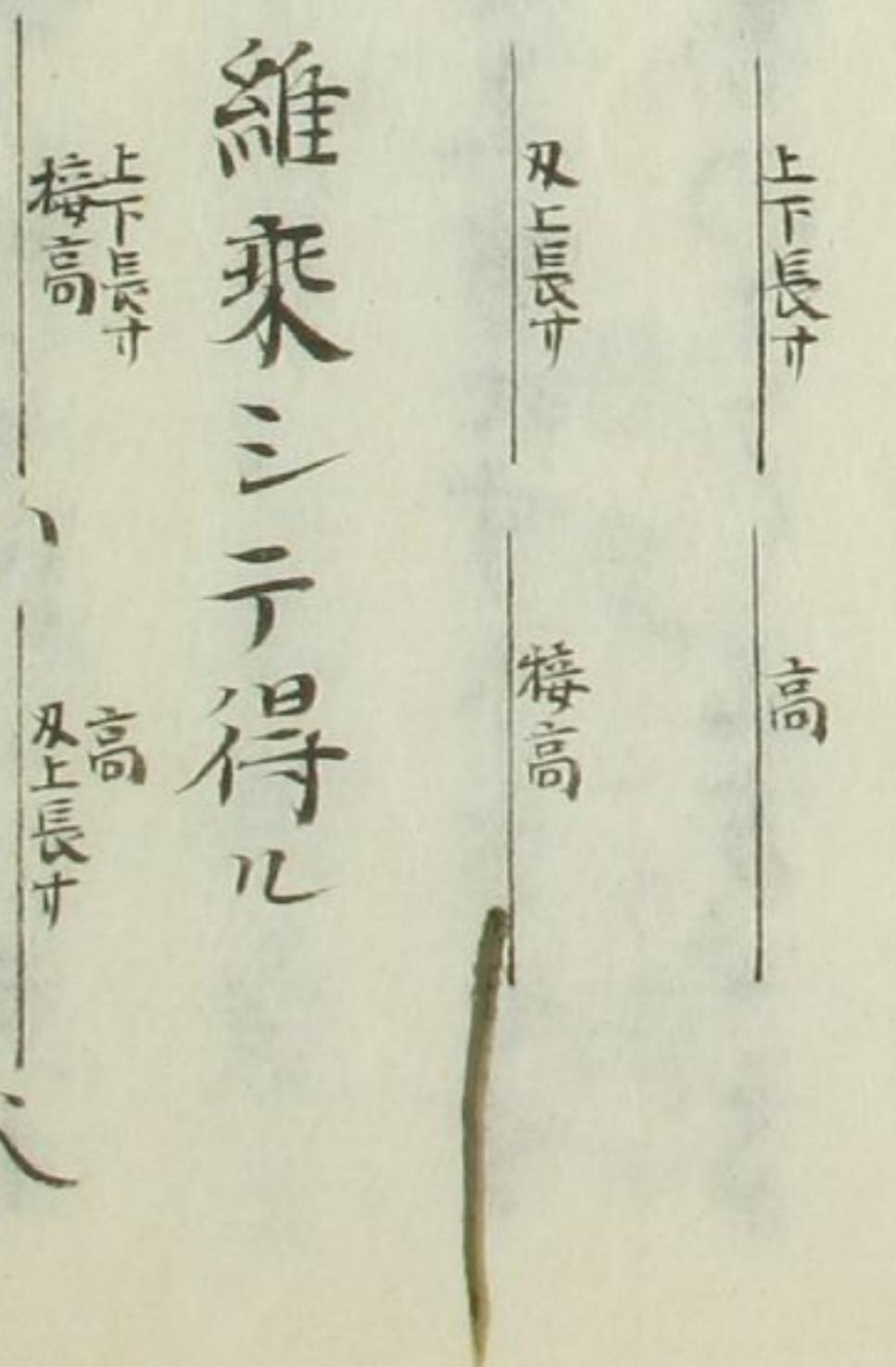
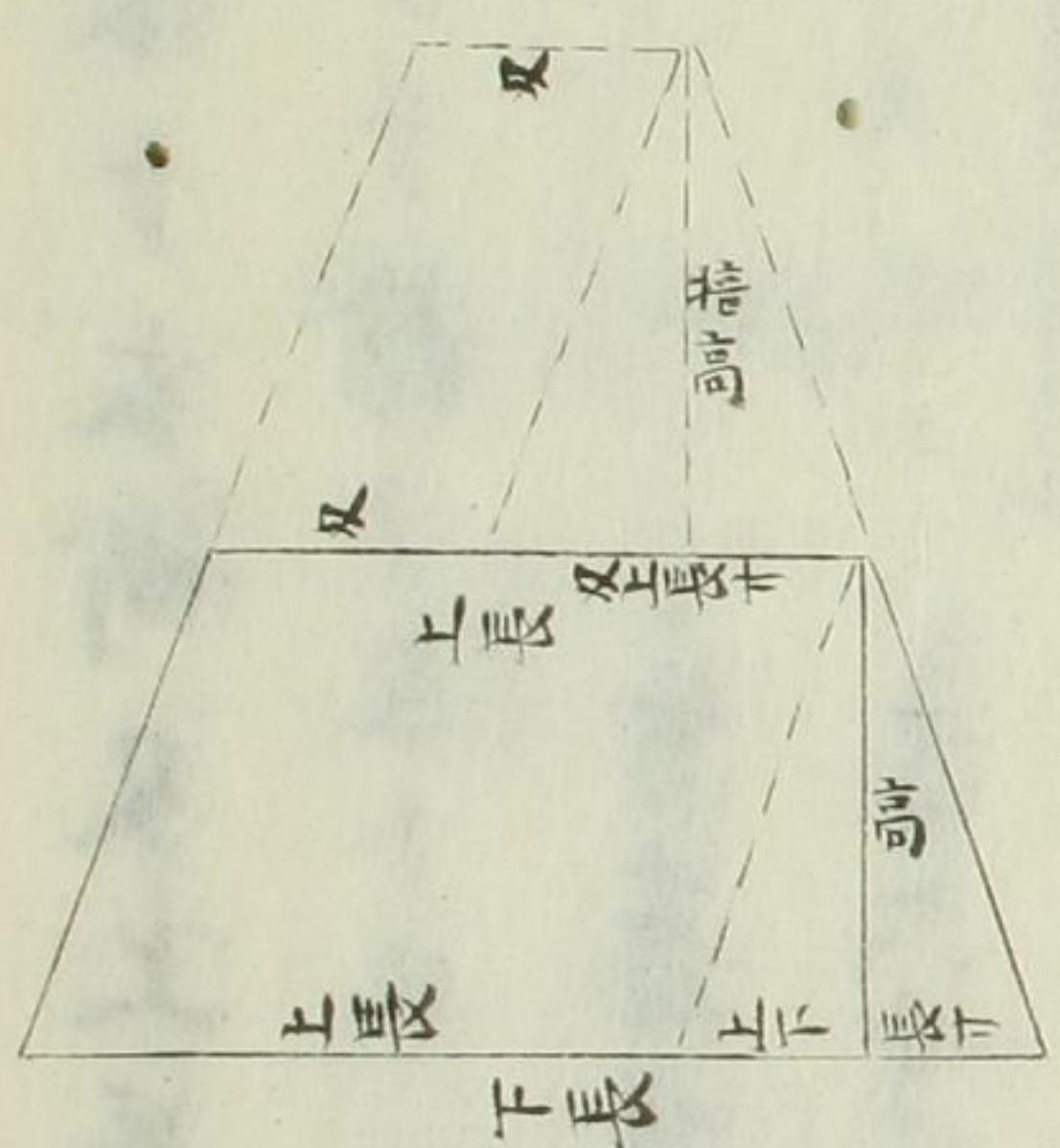
依之本術接高ヲ得ル

又又ヨリ

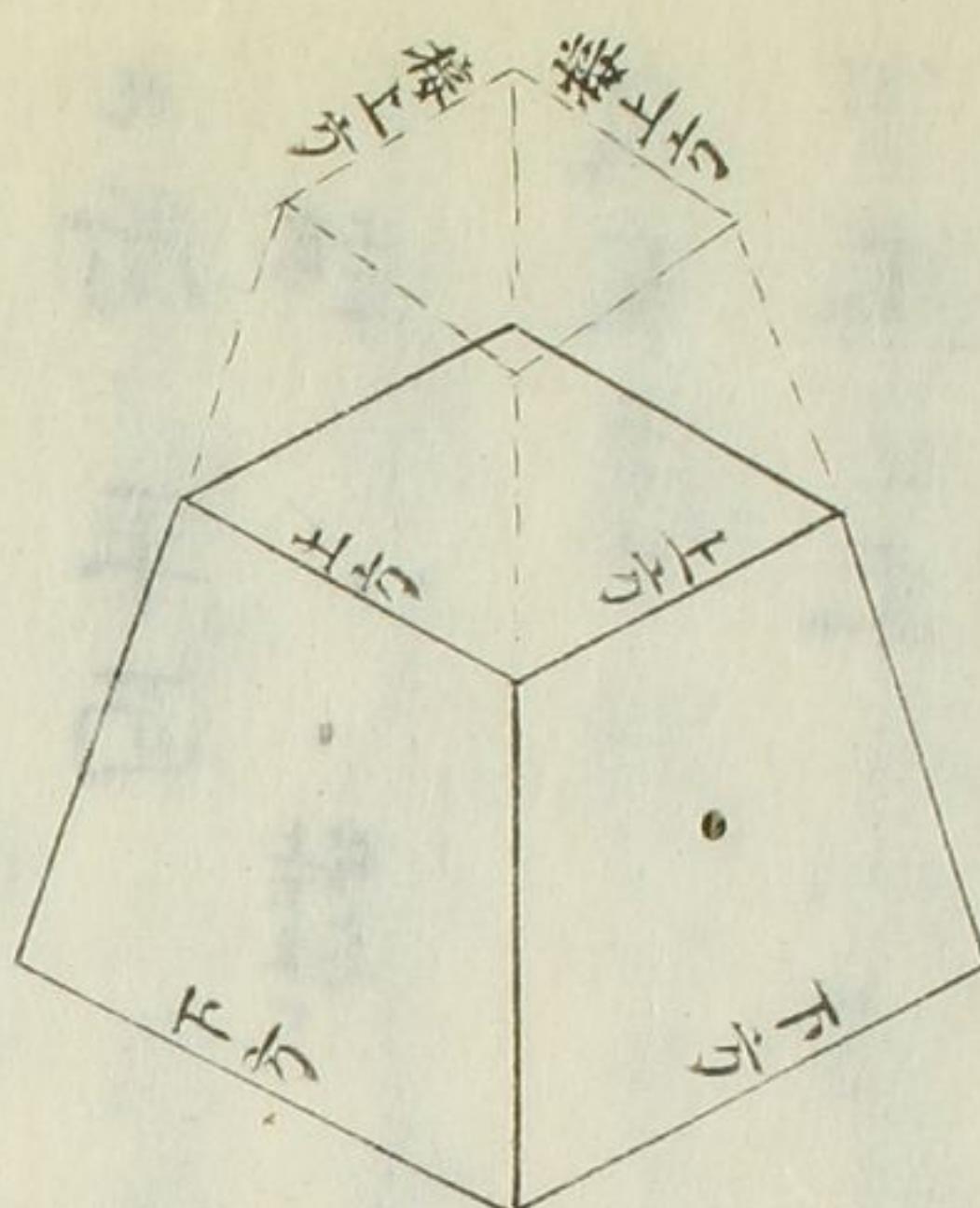
下平ノ正

中ニ至テ

切ル形



右ノ式ニ依テ本術又上長ノ差ヲ得ル以テ上
長ヲ減シテ餘ヲ又トス



方基有上方にす下方せオ
ム六寸号のとく上方イム
武寸と傍く又方基小形
上梅方行程と向

言々 梅上方ニ寸

御ヒ下方寸の内上方扣と減して候ニ小形
ム寸とましてすと候ム小形ニ上方と

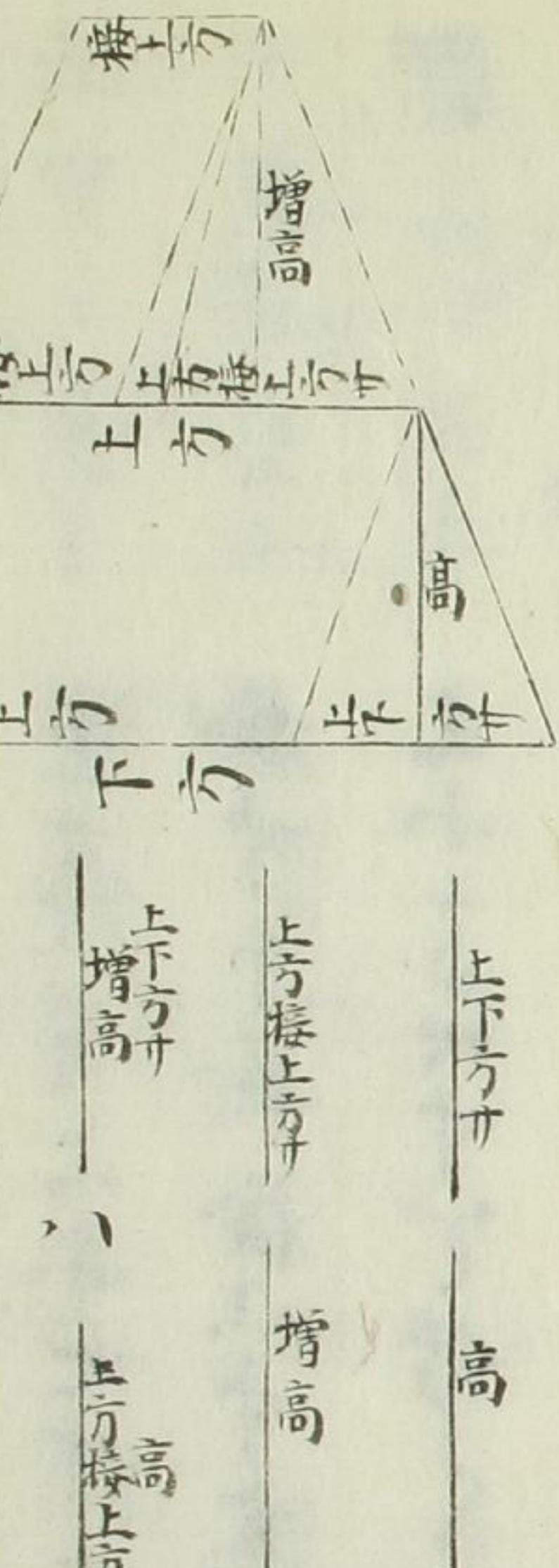
接上方との差を減じて上方を減して
候ニ梅上方と合

解曰

接上方ノ正中ヨリ下方ノ正中ニ至テ切ル所ノ

平面左、如シ

維來シテ得ル



依テ上方ト接上方トノ差ヲ

求メ以テ上方ヲ減メ餘ヲ接上方トスルナリ

走基有上平七寸上長拾八寸下平

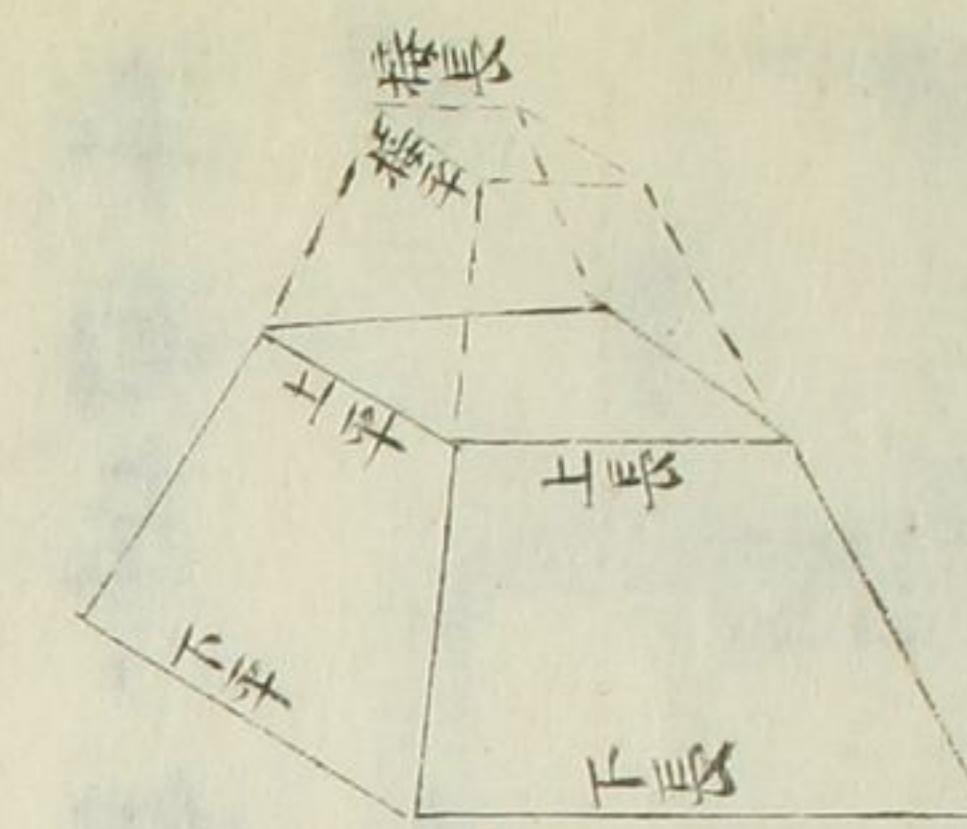
拾寸下長拾八寸高六寸也基の

上小もれ寸で増く又走基小幅少

接上長平各行之と同

善云 梅上平八寸 梅上長拾三寸

術云下平拾八寸の内上平七寸減しては寸小傍も
寸也索して寸拾武とひもす寸下降く上平と
接平との差武とひもす寸上平七寸減して



梅長ノ正中

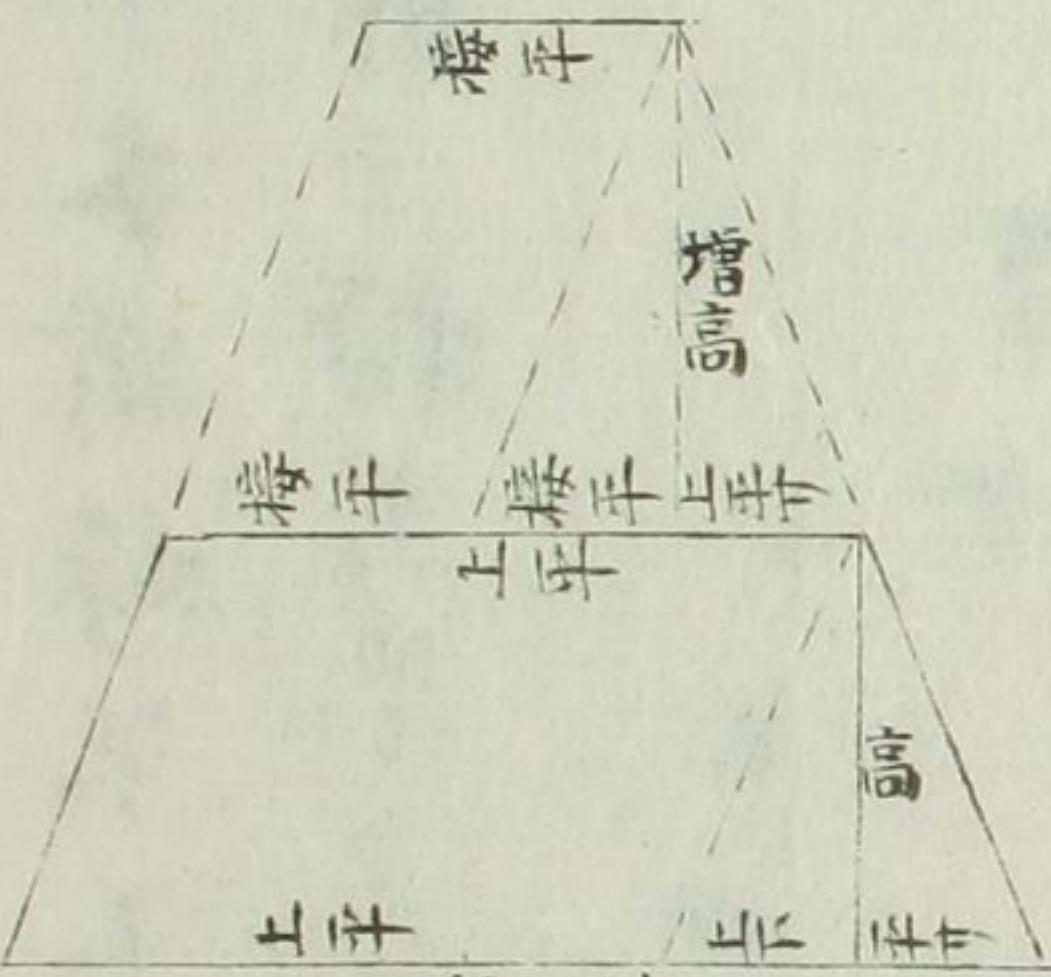
ヨリ下長ノ

正中ニ至テ

切ル所ノ形

解曰

竹子と梅上平と云 又下長拾八寸の内上長拾三寸
減しては寸小傍もすとまして寸拾武とひもす寸
除く上長と梅長との差武とひもす寸上長拾
て減しては寸拾三寸梅上長と云ふ合回



維來ニテ得ル

上下平寸ハ
梅上平寸

右ノ式ニ依テ本術接平上平ノ差ヲ求メ以テ
上平ヲ減メ餘ヲ接上平トスルナリ

又接平ノ正

中ヨリ下平

ノ正中至

テ切ル所ノ

平面如

接長上長

接上長十スルナリ

維來ニテ得ル
右ノ式ニ依テ本術

接長上長ノ差ヲ求テ以テ上長ヲ減シテ餘ヲ

接上長十スルナリ

